1　正しいのはどれか。
a　鉛曝露の指標として血中鉛を測定する。
b　マンデル酸は代謝されてスチレンとなり尿中に排泄される。
c　メタノールは代謝されてエタノールとなり尿中に排泄される。
d　二硫化炭素を扱う労働者の健康診断で、尿中二硫化炭素を測定する。
e　キシレンを扱う労働者の健康診断の尿の採取は、作業開始時に行う。

2　歯肉肥厚をきたす薬物はどれか。**2つ選べ。**
a　キニジン
b　アトロピン
c　ニフェジピン
d　フェニトイン
e　アロプリノール

3　リンパ系に寄生するのはどれか。
a　アニサキス
b　日本住血吸虫
c　エキノコックス
d　バンクロフト糸状虫
e　クリプトスポリジウム

4　マクロファージなど自然免疫を担う食細胞が発現する Toll 様受容体（TLR：Toll-like receptor）により**認識されない**のはどれか。
a　チトクロムc
b　二重鎖RNA
c　フラジェリン
d　ペプチドグリカン
e　リポ多糖

5　正しいのはどれか。
a　食後は血液中のグルカゴン量が増加する。
b　脳はケトン体をエネルギー源として利用する。
c　数日間の絶食で、血液中の脂肪酸量は減少する。
d　筋肉はグルコース-6-ホスファターゼの活性が高い。
e　レプチンは肝臓が分泌する摂食抑制ホルモンである。

6　アルドステロンについて正しいのはどれか。
a　脳下垂体前葉から放出される。
b　脳下垂体後葉から放出される。
c　副腎髄質から放出される。
d　体液量を減少させる。
e　血清カリウムを低下させる。

7　胸郭内で観察**できない**のはどれか。
a　胸　管
b　奇静脈
c　上皮小体
d　動脈管索
e　大内臓神経

8　災害医療について正しいのはどれか。**3つ選べ。**
a　旅行者や外国人は災害弱者には含まれない。
b　トリアージタッグの規格は統一されている。
c　トリアージタッグの種別の判断は、医師に限られる。
d　災害拠点病院は災害時の医療救護活動の中核を担う。
e　PTSDへの対応は災害発生早期から開始し、長期間必要である。

9　胎便について正しいのはどれか。**2つ選べ。**
a　黄色である。
b　無臭である。
c　大腸菌が含まれている。
d　胎児の肺にとって有害である。
e　生後3日を過ぎてから排泄される。

10　正常眼において血管が**存在しない**のはどれか。**2つ選べ。**
a　角　膜
b　虹　彩
c　視神経
d　水晶体
e　脈絡膜

11 男性生殖器の構造・機能について正しいのはどれか。

a 勃起は交感神経支配である。

b 射精は交感神経支配である。

c Leydig細胞は精細管内に存在する。

d 精液の90%以上は前立腺から分泌される。

e 黄体形成ホルモンはSertoli細胞に作用する。

12 声門を開大する筋はどれか。

a 披裂筋

b 甲状披裂筋

c 輪状甲状筋

d 後輪状披裂筋

e 外側輪状披裂筋

13 認知症のスクリーニングが主な目的である検査はどれか。

a Rorschachテスト

b 状態特性不安検査 <STAI>

c 簡易精神症状評価尺度 <BPRS>

d Mini-Mental State Examination <MMSE>

e Minnesota 多面人格検査 <MMPI>

14 正常分娩経過で**誤っている**のはどれか。

a 第１回旋は児頭の前屈運動である。

b 第２回旋は児の大泉門が母体背側に回旋する。

c 骨盤出口部で児頭の矢状縫合は骨盤横径に一致する。

d 児頭が骨盤出口部を通過する際に児頭は反屈運動を行う。

e 分娩開始とは10分毎の子宮収縮が始まった時点をさす。

15 日本の法律について正しい組合せはどれか。

a インフォームドコンセントの促進――――医療法

b 死産の届出――――戸籍法

c 検　疫――――感染症法

d 病院の開設――――地域保健法

e 定期健康診断――――高齢者医療確保法

16 意識障害の原因として**誤っている**のはどれか。

a 高乳酸血症

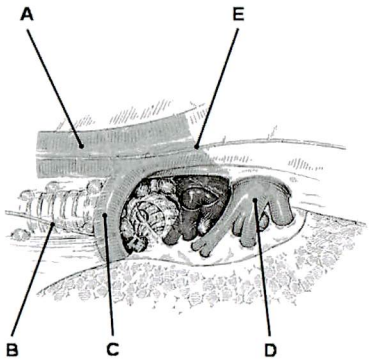
b 高二酸化炭素血症

c 高カルシウム血症

d 低酸素血症

e 低血糖

17 右肺門部および縦隔の局所解剖を示す。図の左が頭側、右が尾側である。



右肺門部および縦隔の局所解剖図

正しいのはどれか。

a A――――下大静脈

b B――――交感神経

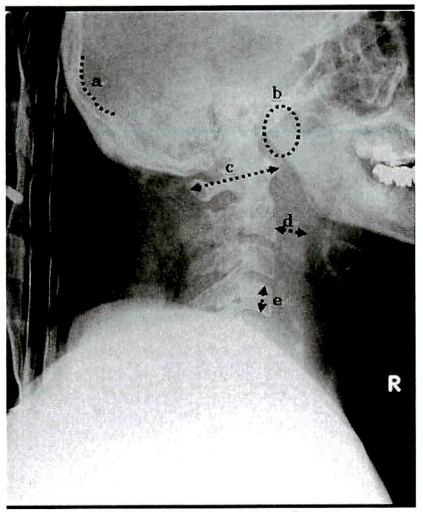
c C――――腕頭静脈

d D――――上肺静脈

e E――――迷走神経

18 多発外傷患者のエックス線写真を示す。異常所見はどれか。

a
b
c
d
e



多発外傷患者のエックス線写真

19 排菌のある肺結核患者の対応で**誤っている**のはどれか。

a 診療前後の手洗い
b 採血時の手袋着用
c 医療従事者のN95マスクの着用
d 患者のN95マスクの着用
e 病室の陰圧管理

20 眼窩ふきぬけ骨折で**見られない**のはどれか。**2つ選べ。**

a 眼球突出
b 眼球陥凹
c 知覚障害
d 開口障害
e 咬合不全

21 肺癌と**関連がない**のはどれか。

a アスベスト
b 六価クロム
c ベンゼン
d ニッケル
e ヒ 素

22 胎児付属物について正しいのはどれか。

a 羊水は弱酸性のためBTB試験紙で青変する。
b 2絨毛膜2羊膜双胎は2卵性である。
c 胎盤絨毛細胞性合胞体細胞は胎児血と接する。
d 癒着胎盤では脱落膜が欠損する。
e 妊娠初期では、羊水の大部分が胎児尿である。

23 正常発達の3歳児。一日尿量はどれくらいか。

a 200 m*l*
b 300 m*l*
c 500 m*l*
d 1,000 m*l*
e 1,200 m*l*

24 二次予防はどれか。

a 脳梗塞後の麻痺に対するリハビリテーション
b がんの早期発見のためのスクリーニング検査
c 季節性インフルエンザのための流行前の予防接種
d 糖尿病既往のない人へのカロリーを考慮した食事指導
e 熱発したリウマチ既往のある患者への心内膜炎予防のための抗菌薬投与

25 正常心機能について正しいのはどれか。

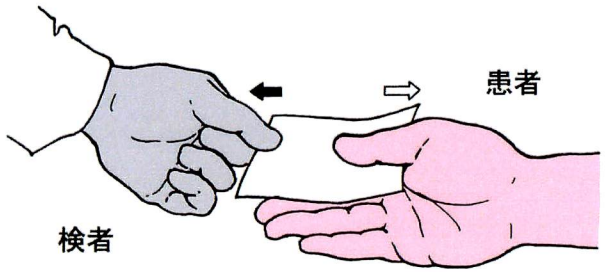
a 拡張開始時の心筋長により心筋発生張力が調節される。
b 心収縮前の血液充満が増えると心拍出量は減少する。
c 心臓交感神経刺激は心筋の収縮特性を修飾しない。
d 心臓迷走神経刺激は陰性変力作用を及ぼす。
e 等容収縮期には大動脈弁は開放している。

26 正常妊娠について**誤っている**のはどれか。

a　着床は受精後7 ～10日におこる。
b　妊娠20週では胎動を自覚できない。
c　妊娠28週で胎児推定体重が650gである。
d　妊娠30週で羊水指数（AFI）が10cmである。
e　妊娠6週では超音波検査で胎児心拍を認めない。

27 ある筋肉の筋力の診察法を示す。
この診察法でみている筋肉はどれか。

a　短母指外転筋
b　母指対立筋
c　母指内転筋
d　長母指屈筋
e　掌側骨間筋



ある筋肉の筋力の診察法

28 術後肺合併症の発症要因となるのはどれか。

a　20歳代
b　早期離床
c　BMI25以下
d　上腹部開腹術
e　8週間以上の禁煙

29 正しい用語の組合せはどれか。**2つ選べ。**

a　国際障害分類――――――――――――ICF
b　生活の質――――――――――――quality of life
c　参加制約――――――――――――participation restrictions
d　機能欠損――――――――――――impairment
e　バリアフリー――――――――――――normalization

30 標準予防策において感染源として**誤っている**のはどれか。

a　汗
b　尿
c　血　液
d　消化液
e　膿などの分泌物

31 低Na血症をきたすのはどれか。**2つ選べ。**

a　尿崩症
b　SIADH
c　Basedow病
d　Addison病
e　副甲状腺機能低下症

32 母子健康手帳について**誤っている**のはどれか。

a　居住地の保健所で交付される。
b　双胎妊娠時は2冊交付される。
c　出生体重・日時が記載される。
d　母体の血圧・尿検査が記載される。
e　所持者は妊娠中の健康診査料が公費負担される。

33 我が国の結核の現状について正しいのはどれか。

a　結核罹患率は約5である。
b　結核罹患率は大都市より地方都市で高い。
c　新登録結核患者の約半数は70歳以上である。
d　我が国の結核罹患率は欧米先進国と同程度である。
e　喀痰塗抹陽性肺結核患者は平成16年以降年々に増加している。

34 上肢に紫斑が好発するのはどれか。

a　血友病
b　単純性紫斑
c　老人性紫斑病
d　アレルギー性紫斑病
e　血栓性血小板減少性紫斑病

35 我が国の自殺統計で正しいのはどれか。**2つ選べ。**

a 年間の自殺数は約2万人である。

b ここ数年は減少傾向にある。

c 方法では溢首が最も多い。

d 地域では大都市で多い。

e 原因として最も多いのは健康問題である。

36 母乳について正しいのはどれか。

a 1年間母乳のみでも栄養は十分である。

b 母乳栄養児の腸内は弱アルカリ性である。

c 分泌型IgMが多い。

d 緑便はビリベルジンの色である。

e 母乳中には必要なビタミンはすべて入っている。

37 リハビリの適応が**ない**のはどれか。

a %VCが60%のALSに対する呼吸療法

b パーキンソン病の小声に対する言語療法

c 肺炎で臥床状態の脳梗塞後遺症の理学療法

d 全失語で意思疎通性のない脳梗塞の作業療法

e Guillain-Barre症候群の深部感覚障害に対する理学療法

38 社会福祉関係法規に**含まれない**のはどれか。

a 生活保護法

b 精神保健福祉法

c 児童福祉法

d 身体障害者福祉法

e 老人福祉法

39 冠動脈造影検査後の腎障害予防に有用なのはどれか。

a 造影前の生理食塩水負荷

b 造影後の乳酸加リンゲル液負荷

c 造影後の生理食塩水負荷とフロセミド静注

d 造影前後の乳酸加リンゲル液負荷

e 造影後の血液透析

40 検査法とその目的の組合せで正しいのはどれか。

a BT-PABA試験 ——————————膵内分泌機能を評価

b グルカゴン負荷試験——————————大腸癌の存在部位を特定

c ICG試験 ——————————肝細胞癌の手術適応を決定

d SudanⅢ染色法 ——————————タンパク合成能障害の有無を診断

e α_1-アンチトリプシン法 ——————————ヘリコバクター・ピロリの除菌治療判定

41 HCV抗体陽性患者から採血した針で誤って自分の指を刺傷した。自分は1年前の検診でHCV抗体陰性であった。直ちに行うべき検査項目はどれか。

a 自分の血中IgG値

b 自分の血中リンパ球数

c 自分のHCV抗体検査

d 患者のHCV RNA定量

e 患者のHCV遺伝子型の検査

42 血液透析について正しいのはどれか。**2つ選べ。**

a 透析中の除水量の調節は透析液側に陰圧をかけて行う。

b 透析に伴う不均衡症候群は血漿浸透圧の低下によって発現する。

c 透析液のナトリウム濃度は血中の生理的濃度よりやや高く設定されている。

d 体外循環の血液はブラッドアクセスの静脈側から脱血して動脈側へ返血する。

e 透析液中の重炭酸イオン濃度は、血中の生理的濃度よりやや低く設定されている。

43 低身長と精神発達遅滞の両方を伴うのはどれか。**3つ選べ。**

a クレチン症

b Turner症候群

c Prader-Willi症候群

d 偽性副甲状腺機能低下症

e 成長ホルモン分泌不全性低身長

44 80歳の女性。体幹の皮疹を主訴に来院。2か月前より食事をすると口腔内に痛みを自覚していた。約1か月前より体幹に破れやすい水ぶくれが出現するようになった。体幹の写真を示す。発熱はなく、全身状態は良好である。薬剤の内服歴はない。Tzanck試験を施行したところ、棘融解細胞を認めた。

この症例で陽性となる所見はどれか。

a　Auspizt現象
b　Darier徴候
c　Köbner現象
d　Nikolsky現象
e　Leser-Trélat徴候

体幹の写真

45 26歳の男性。元来おとなしい性格だった。アルバイトをしながら両親と同居していたがここ2か月徐々に外出しなくなり、自宅に閉じこもるようになっていった。さらに「神にテレパシーで操られている」と言い出した。

現在この症例にみられている精神症状はどれか。

a　錯　覚
b　被害妄想
c　両価性
d　させられ体験
e　緊張病症候群

46 28歳の男性。膝関節鏡手術に対し、麻酔中誤って硬膜外腔に投与する局所麻酔薬を静注してしまった。その直後から、患者は全身性の痙攣発作を起こし、やがて重積状態となった。

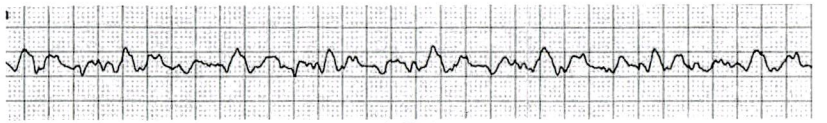
静脈内にまず投与する薬物はどれか。

a　ドパミン
b　アトロピン
c　リドカイン
d　ヘパリン
e　ジアゼパム

47 54歳の男性。生来健康。通勤途中の駅で意識を消失し、救急隊による一次救命処置後、搬送となった。来院時、意識混迷、脈拍 85 回/分、整。血圧 110/60 mmHg。呼吸音整。頸静脈怒張なし。救急隊到着時の心電図を示す。

治療として適切なものはどれか。

a　イソプロテレノール投与
b　体外式ペースメーカー挿入
c　カテーテルアブレーション
d　ICD（植え込み型除細動器）植込術
e　IABP（大動脈内バルーンポンピング）挿入



心電図

48 40歳の男性。意識障害のため搬入された。

現病歴：バイクで走行中に転倒し、頭部を打撲した。受傷直後は「頭が痛い」と会話していたが救急車搬送中に傾眠傾向となった。

既往歴：特記すべきことはない。

現　症：意識はJCS 100。呼吸数 28/分。脈拍 50/分、整。血圧 180/96 mmHg。瞳孔：右 2 mm、左 4 mm。対光反射は左で減弱している。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。右上下肢に麻痺を認め、深部腱反射は亢進している。頭部単純CTを示す。

適切な治療法はどれか。

a　開頭術
b　抗菌薬投与
c　穿頭ドレナージ術
d　脳室ドレナージ術
e　脳浮腫治療薬投与

頭部単純CT

49 77歳の女性。左変形性膝関節症のため人工膝関節全置換術目的に入院した。歩行時痛、膝関節可動域制限を認める。

誤っているリハビリテーションはどれか。**2つ選べ。**

a　術後温熱療法を行う。
b　病棟での自主訓練を指導する。
c　術前筋力・可動域訓練を行う。
d　術後疼痛が消失するまで安静臥床とする。
e　生活の場を想定したプログラムを立てる。

50 18歳の女子。自転車走行中に乗用車と衝突し転倒。顔面外傷を認め搬入された。意識は清明。呼吸数 22/分。脈拍 86/分、整。血圧 124/74 mmHg。顔面右側の耳前部から口角部にかけて 12cm の皮下脂肪が露出する創を認めた。

損傷の可能性が最も**低い**のはどれか。

a　涙小管
b　耳下腺
c　耳下腺管
d　顔面神経
e　大頬骨筋

51 42歳の女性。高度の貧血のため紹介受診となった。

現病歴：生来健康。
既往歴、家族歴：特になし
生活歴：主婦。宗教上の理由により完全菜食主義
月経歴：30日周期、出血量は特に多くない
現症：身長 163 cm、体重 54 kg。血圧 120/86 mmHg。Hb 5.0 mg/dl。

原因として考えられるのはどれか。**2つ選べ。**

a　ビタミンB_{12}欠乏
b　ナイアシン欠乏
c　鉄欠乏
d　ビタミンB_1欠乏
e　ヨード欠乏

52 28歳の初産婦。妊娠37週0日に陣痛発来し来院した。

現病歴：自然妊娠で、妊娠32週の時に、里帰り分娩で当院を受診した。妊娠経過中血圧は安定し、尿蛋白や尿糖は認めなかった。34週0日の推定胎児体重は 1,508g、36週0日の健診では推定胎児体重 1,790g、羊水指数（AFI）は 5.5cmで、biophysical profile score（BPS）は10点であった。超音波検査によるスクリーニングで胎児の形態異常は認めなかった。
既往歴・生活歴・家族歴：特記すべきことはない。
現　症：身長 157 cm、体重 62 kg。体温 36.9℃、脈拍 71/分、整。血圧 129/68 mmHg。子宮底長 28 cm、腹囲 89 cm。腹部の触知で7 ～9分の収縮を認めていた。
内診所見：先進は頭部で胎胞を触知した。羊水の流出はなく、子宮口は 4 cm開大、展退度は60%、SPは-1 cmであった。

まず行う検査はどれか。

a　CST
b　血液検査
c　頸管培養
d　超音波検査
e　胎児心拍数陣痛図

53 32歳の初産婦。妊娠39週5日に正常経腟分娩で3,200gの児を出産した。分娩後の経過は順調で特に異常を認めなかった。現在授乳中であり、本日産後1か月健診に受診した。

この褥婦の正常な産褥経過として正しいのはどれか。

a　子宮は手拳大である。
b　月経は未発来である。
c　初乳が分泌されている。
d　悪露は赤色悪露である。
e　子宮口が2cm開大している。

54 1歳の男児。乳児健康診査で来院した。体重 9,380g、身長 76 cm。診察所見に異常を認めない。

この乳児について正しいのはどれか。

a　スプーンを上手に使える。
b　つかまり立ちができない。
c　大泉門を 7 mm触知する。
d　頭位が胸囲より大きい。
e　カウプ指数（Kaup）指数は20以上である。

55　28歳の研修医の女性。深夜勤務中の午前2時ごろ、33歳の男性が痙攣、意識障害のため救急搬送された。標準予防策をとっていたが、採血時に誤って自分の示指の先端に針を刺してしまった。手袋にごく僅か血が滲んだが、そのまま仕事を継続した。早朝になり、患者はHIV抗体陽性と判明したが、早朝から他の重症患者の治療で勤務を続けており、午前9時になり本人から昨晩の針刺し事故についての報告があった。

誤っているのはどれか。

a　研修医の妊娠の有無を確認する。
b　針刺し事故によるHIV感染率は0.3 %である。
c　研修医に「速やかに連絡することが望ましい」と指導する。
d　エイズ患者と同じプロトコルで抗HIV薬の投与を行う。
e　感染の非成立が確認できるまで定期的に抗体検査を行う。

56　2歳の女児。意識障害を主訴に母親が救急隊を要請し、救急搬送にて来院した。来院時体温37.5℃。呼吸 40 /分。脈拍 140 /分。意識状態はJCSⅢ-300であった。全身は汚れており、目立った外傷はないものの身長 80 cm、体重 7 kgと著明なるいそうを認めた。呼吸音、心音、腹部聴診に問題なし。予防接種は全て施行しておらず、乳幼児健診も受けていなかった。母親は比較的落ち着いているが、患児の普段の生活状況を聴取しようとするとはぐらかしたり、返答があいまいになったりした。

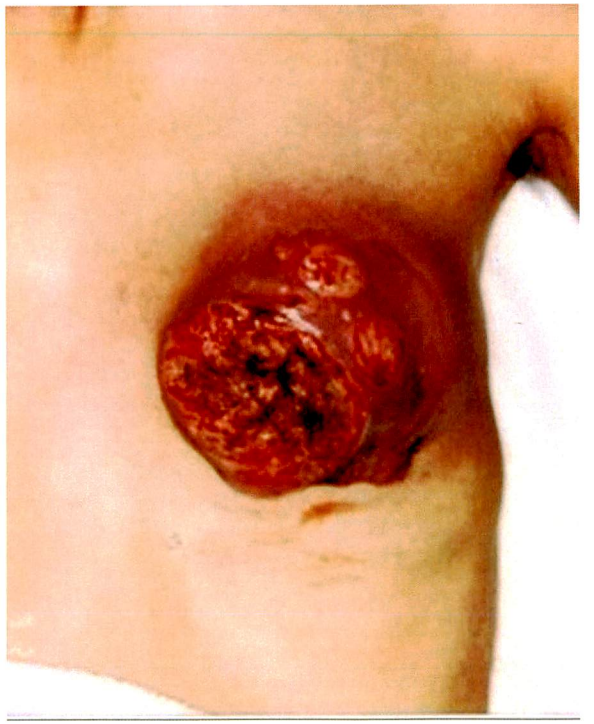
対応として正しいのはどれか。

a　母親を精神科措置入院とする。
b　直ちに児童相談所へ通告する。
c　母親に付き添いを依頼して入院させる。
d　外傷がないので全身骨のエックス線撮影は必要ない。
e　意識の改善を認めれば外来で経過観察とする。

57　50歳の女性。約1年前より左乳房の腫瘤を自覚していたが放置していた。1か月前から腫瘤に潰瘍を伴うようになり受診した。左乳房全体を占める腫瘍を認め、中央には易出血性の潰瘍を認めた。組織生検で浸潤性乳管癌と診断された。

臨床病期分類で、腫瘍の評価として最も考えられるのはどれか。

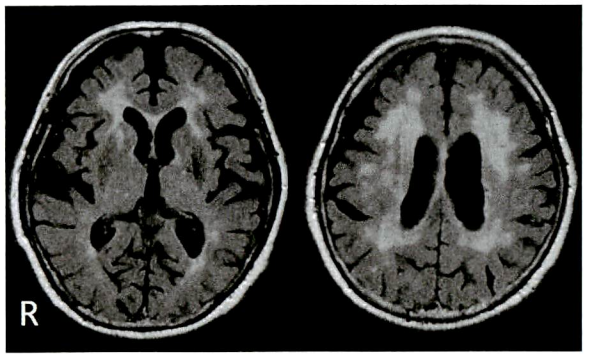
a　T0
b　T1
c　T2
d　T3
e　T4



58　82歳の男性。生来健康。5年前から歩行時に両膝の痛みが出現、姿勢も前屈傾向になってきたため、最近は杖をついている。何となく元気がなく動作が緩慢となり、食事の際せき込むようになったため、家族が心配し受診した。頭部MRI FLAIR画像を示す。

起こりにくい症状・病態はどれか。

a　頻　尿
b　下　痢
c　認知症
d　嚥下障害
e　転倒傾向

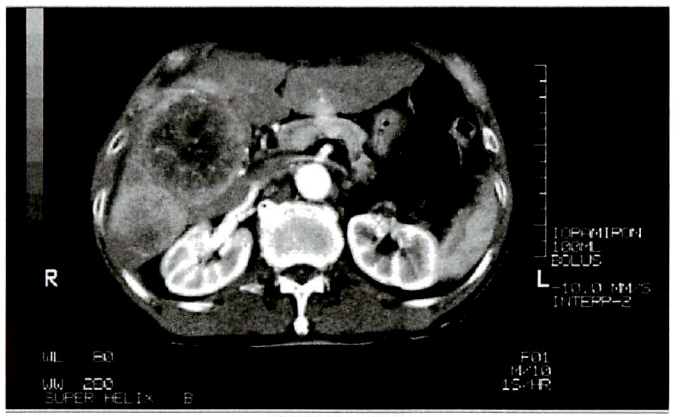


頭部MRI FLAIR画像

59　62歳の男性。Child分類AのHCV陽性肝硬変患者の腹部造影CT写真で、肝右葉に 5 cmを超える2個の腫瘍を認めた。

今後の治療方針を決定する際に必要な情報を**2つ選べ**。

a　AFP値
b　輸血歴
c　脈管侵襲の有無
d　他臓器転移の有無
e　食道胃静脈瘤合併の有無



腹部造影CT写真

60　63歳の男性。便潜血検査陽性にて精査目的で来院した。自覚症状はない。

大腸内視鏡写真にて、横行結腸に病変を認めた。

適切な治療法はどれか。

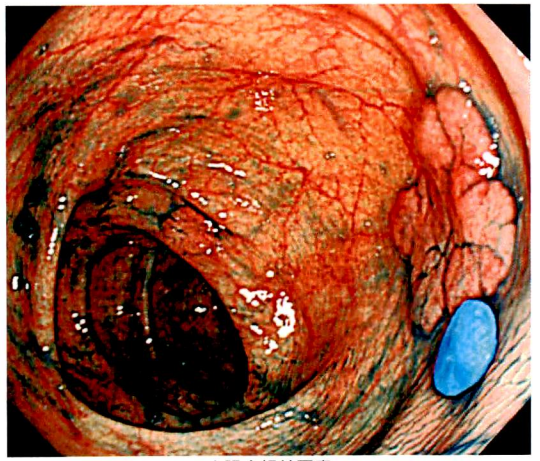
a　経過観察

b　外科的腸切除

c　レーザー治療

d　内視鏡的粘膜切除術

e　ホット・バイオプシー



大腸内視鏡写真

61　72歳の男性。慢性腎不全で1年前から外来加療中である。2か月前に内シャントを造設した。1週間前より全身倦怠感、3日前から悪心、嘔吐が出現し来院した。来院時、血圧 180/90 mmHg、身体所見上心拡大と肺野に湿性ラ音を聴取した。

動脈血ガス分析（自発呼吸、room air）：pH 7.28、PaO_2 85 Torr、$PaCO_2$ 30 Torr、HCO_3^- 12 mmol/*l*、BE −12.0 mmol/*l*、血液所見：赤血球 270万、Hb 8.3 g/d*l*、Ht 25%、血液生化学所見：アルブミン 4.0 g/d*l*、尿素窒素 138 mg/d*l*、クレアチニン 11.85 mg/d*l*、尿酸 8.0 mg/d*l*、Na 135 mEq/*l*、K 6.8 mEq/*l*、Cl 113 mEq/*l*を認めた。

適切な治療はどれか。

a　グルコース・インスリン療法

b　8.4%重炭酸ナトリウム液の投与

c　血液吸着

d　血漿交換

e　血液透析

62　血小板に関して正しいのはどれか。**2つ選べ。**

a　寿命は約3日である。

b　癌の血行性転移を抑制する。

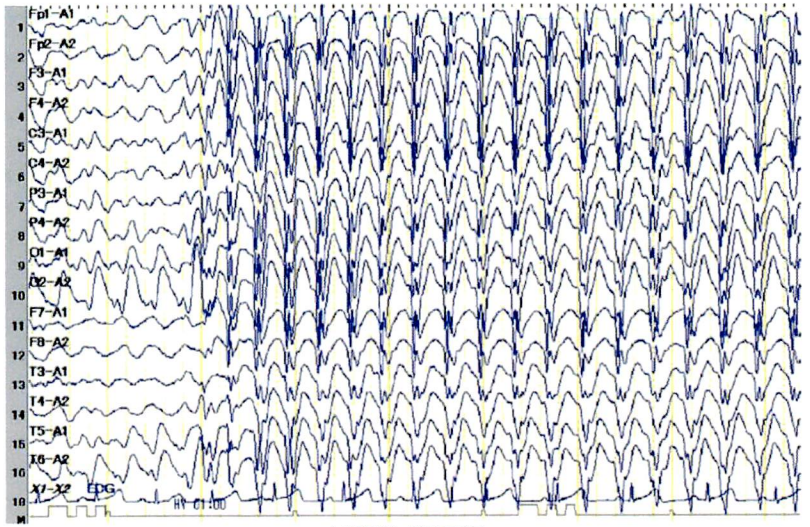
c　主に二次止血に関与している。

d　活性化されると形態変化をおこす。

e　骨髄巨核球の細胞質から分離して産生される。

次の文章を読み、63～65の問いに答えよ。

7歳2か月の女児。突然の意識消失を主訴に受診した。7か月前頃より突然ぼんやりとして呼びかけに反応がないことがあり、徐々にその頻度が増えてきた。家族歴は問題なく、現在までの知的発達は良好であった。自然睡眠時脳波所見を示す。



自然睡眠時脳波所見

63 無治療の場合に、今後出現する症状はどれか。

a チック
b 脳性麻痺
c 学力低下
d アテトーゼ
e 髄膜刺激徴候

64 この患者の初期治療として正しいのはどれか。

a 経過観察
b ACTH筋肉内投与
c ビタミンB_6大量療法
d アセトアミノフェン内服
e バルプロ酸ナトリウム内服

65 この患者の病状説明として正しいのはどれか。

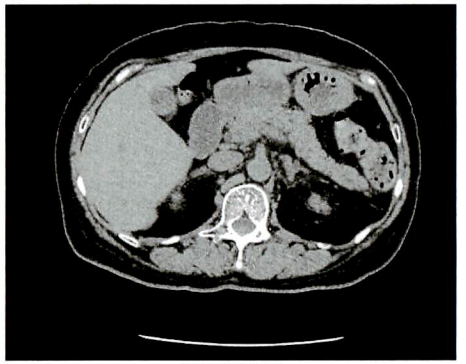
a 致死的である。
b 予後良好である。
c 遺伝性疾患である。
d 中枢神経系の後遺症が残る。
e 精神疾患が併発する可能性がある。

次の文を読み、66～68の問いに答えよ。

55歳の男性。検診で高血圧を指摘され、精査目的で入院した。身長 163 cm、体重 59 kg。脈拍 70/分、整。血圧 170/110 mmHg。心音、呼吸音に異常なし。尿所見:蛋白 +、潜血 (－)。血液所見:Hb 13 g/dl、白血球 7,000、血小板 28 万。血液生化学所見:総蛋白 6.8 g/dl、アルブミン 3.5 g/dl、尿素窒素 17 mg/dl、クレアチニン1.2 mg/dl、尿酸 6.8 mg/dl、Na 140 mEq/l、K 2.7 mEq/l、Cl 95 mEq/l、血糖 136 mg/dl。血漿レニン活性〈PRA〉0.4 ng/ml/時間 (基準1.2～2.5)、アルドステロン 32 ng/dl (基準5～10)、コルチゾール 5.4 μg/dl (基準4～18)。動脈血ガス分析 (自発呼吸、room air):pH 7.45、PaO_2 88 Torr、$PaCO_2$ 48 Torr、HCO_3^- 33 mEq/l。腹部単純CTを示す。

66 この患者の酸塩基平衡はどれか。

a 正　常
b 呼吸性アシドーシス
c 代謝性アシドーシス
d 呼吸性アルカローシス
e 代謝性アルカローシス



腹部単純CT

67 診断はどれか。

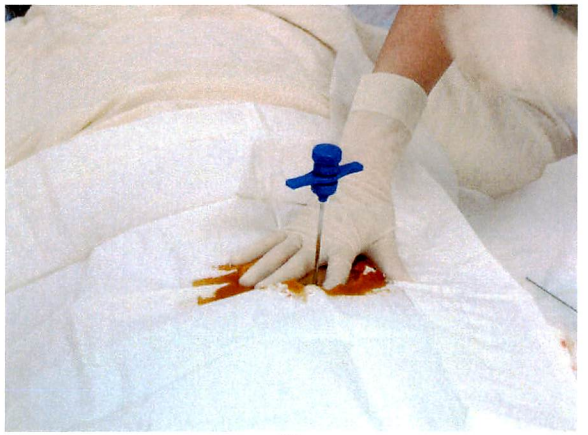
a 腎腫瘍
b Cushing病
c Bartter症候群
d 副腎性器症候群
e 原発性アルドステロン症

68 診断に必要な検査はどれか。

a 腎生検
b レノグラム
c 静脈性腎盂造影
d 副腎静脈血サンプリング
e デキサメサゾン抑制試験

次の文を読み、69～71の問いに答えよ。

46歳の男性。3か月前に頸部の腫瘤に気付いた。その後、両鼠径部にも触れるようになった。3週前からは、寝汗および38℃台の発熱もみられ当科を受診した。既往歴:20歳で骨折手術の際、赤血球2単位輸血した。現症:身長 170 cm、体重 69 kg。両側頸部および両鼠径部に 3 cm大のリンパ節を数個触知する。血液所見:白血球 3,200 (好中球 43%、好酸球 2%、単球 6%、リンパ球 49%)、赤血球 265万、Hb 8.4 g/dl、血小板 23万。AST 22 (基準 40以下)、ALT 24 IU/l (正常値 35以下)、LDH 452 IU/l (基準 176-353)、クレアチニン 0.6 mg/dl、CRP 2.8 mg/dl (基準0.3以下)、可溶性IL-2受容体 3,400 U/ml (基準519以下)。右頸部リンパ節生検で、び慢性大細胞型B細胞リンパ腫と診断された。心臓超音波検査で心拍出率 65%。病期分類のため、図に示す生検術を外来処置室で施行した。



図

69 正しいのはどれか。

a 文書による説明同意は不要である。

b 皮下組織のみならず骨膜も麻酔する。

c 生検部位は胸骨か後腸骨棘が一般的である。

d 生検部位は圧迫止血し、24時間絶対安静とする。

e 生検組織は、確定診断のため3～5cm長が必要である。

70 適切な治療方針はどれか。

a 経過観察

b 免疫療法

c 化学療法

d 放射線療法

e 同種骨髄移植

71 本患者の予後が不良であることを示すのはどれか。**2つ選べ。**

a Hb値

b 血清LDH値

c 血清可溶性IL-2受容体値

d 発症から確定診断までの期間

e パフォーマンスステイタス（PS）